

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	防災会議事業	会計名称	一般会計			担当課	危機管理課					
		予算科目	2	款	1	項	13	目	事業番号	440	所属長名	新田 亮仙
事業評価の有無	☒ 評価対象事業											

事業活動の内容・成果 (D0)

事業費及び財源内訳（千円）							事業活動の実績（活動指標）						
項目		前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	27年度実績	28年度予定	9月末の実績	28年度実績
財源内訳	直接事業費	3,036	186	0	0	0	38	防災会議開催	回	1	1	1	1
	国庫支出金		0	0	0	0	0						
	県支出金		0	0	0	0	0						
	地方債		0	0	0	0	0						
	その他		0	0	0	0	0						
	一般財源	3,036	186	0	0	0	38						
職員の人工（にんく）数		0.40	0.05				0.05						
1人当たりの人件費単価		8,042	8,086				8,086						
※ 直接事業費÷人件費		6,253	590				442						
主な実施主体		直接実施		実施形態（補助金・指定管理料・委託料等の記載欄）									
向こう5年間の直接事業費の推移 （千円）						29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	5年間の合計		
						184	184	184	184	184	920		
成果指標	指標	防災会議参加人員及び地域防災計画の改定等に関与した職員数	単位	⇒	区分年度	27年度	28年度	29年度	目標	毎年度			
					目標	2	1	1	1				
	指標設定の考え方	地域防災計画及び水防計画の審議が主な任務であるが、行政評価では計画自体の評価は困難であるので、計画策定への会議や庁内の関与割合をみて住民参画や職員周知の程度を測る。			実績	1	1	1	1				
					指標で表せない効果								

事務事業評価（CHECK）

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況（今年度の途中経過）			水防計画の改正にかかる防災会議を出水期前に開催。									
事業 												

施策を踏まえた判断	二次判定	☐	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒	指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		☒	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。		
		☐	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。		
		☐	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
☐	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。				
☐	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。				
☐	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。				

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容

今後の方向性（ACTION）

の経営 最終者 判断議	事業の方向性	コメント欄	
	☐	さらに重点化する。	
	☒	現状のまま継続する。	
	☐	右記の点を見直しの上、継続する。	
	☐	事業の縮小を行う。	
	☐	事業の休止、廃止を行う。	